

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R3-11号)

令和3年9月21日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和3年9月17日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

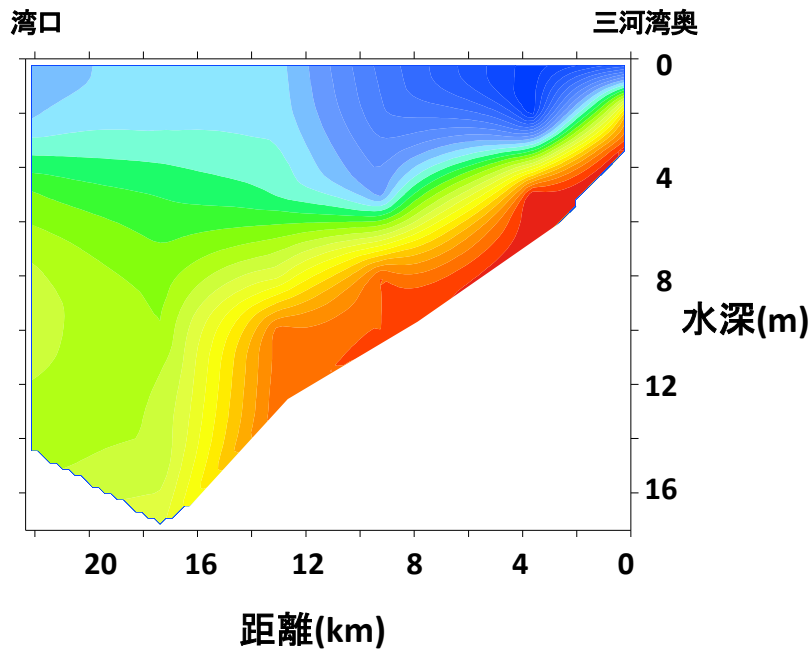
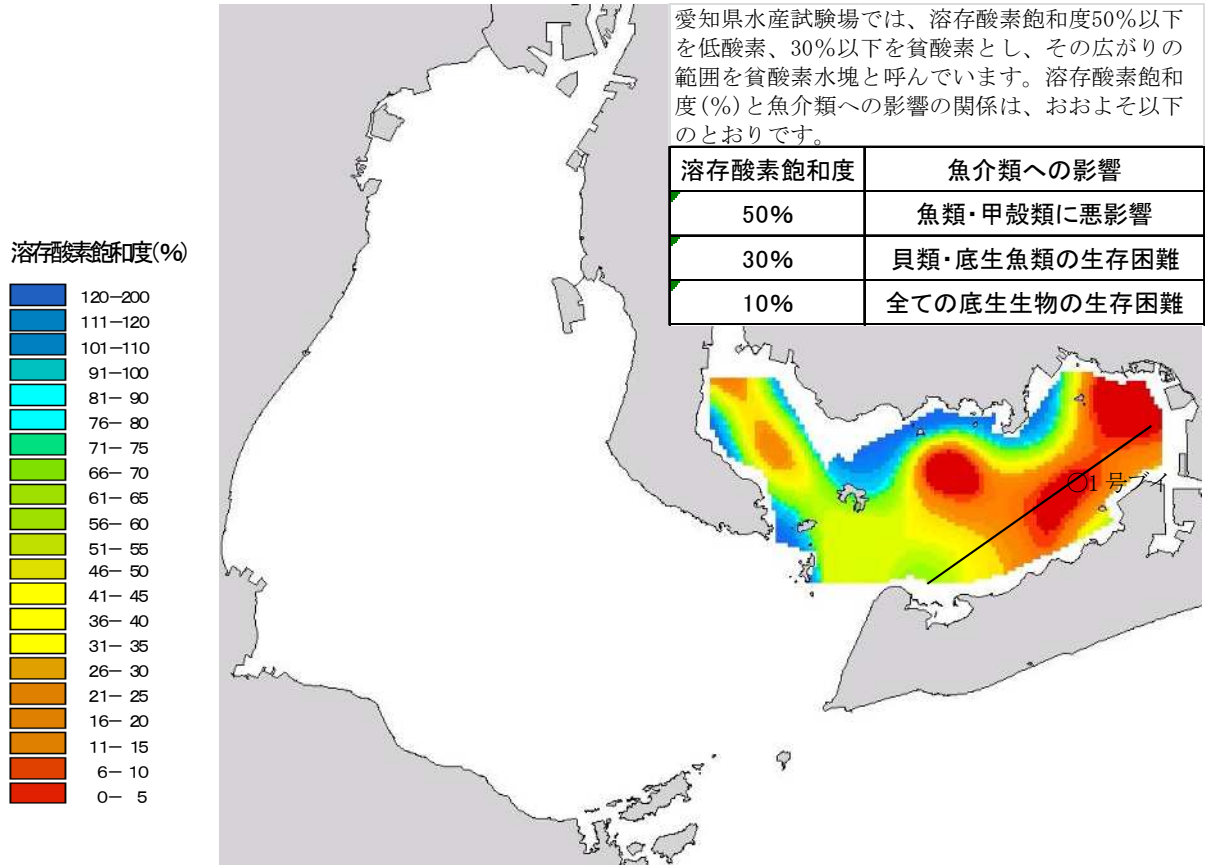


図1 三河湾(9月17日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)  
(愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

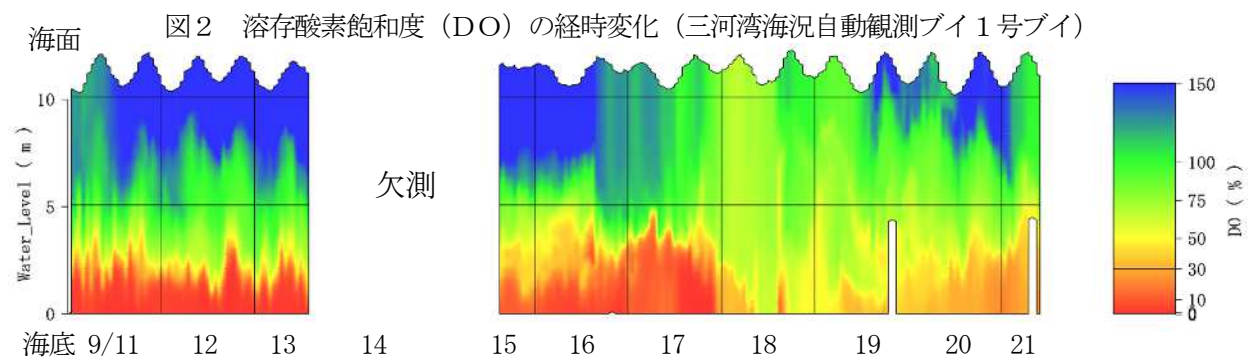
9月17日の調査結果を図1に示しました。渥美湾では湾奥から湾中央にかけて、溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。一方で、渥美湾北部の沿岸域（形原～吉良沖）では溶存酸素飽和度が高くなっていました。知多湾では湾奥から湾中央（河和～豊丘沖）で貧酸素水塊が確認されました。

三河湾海況自動観測ブイ（蒲郡沖、1号ブイ）のデータを見ると、9月11日以降、貧酸素水塊は海底から約3～5mの範囲で確認されましたが、9月18、19日に一時的に解消しています。台風14号の通過に伴う強風により、海水が上下混合されたことによるものと考えられます。

20日以降は再び貧酸素水塊が発達しており、塩分躍層が見られることから、今後もしばらくは貧酸素水塊は発達するものと予想されます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	24.4～25.8	25.5～31.6
底層	24.4～26.2	28.0～32.4



### 参考

前回調査時の伊勢湾、三河湾底層の溶存酸素状況

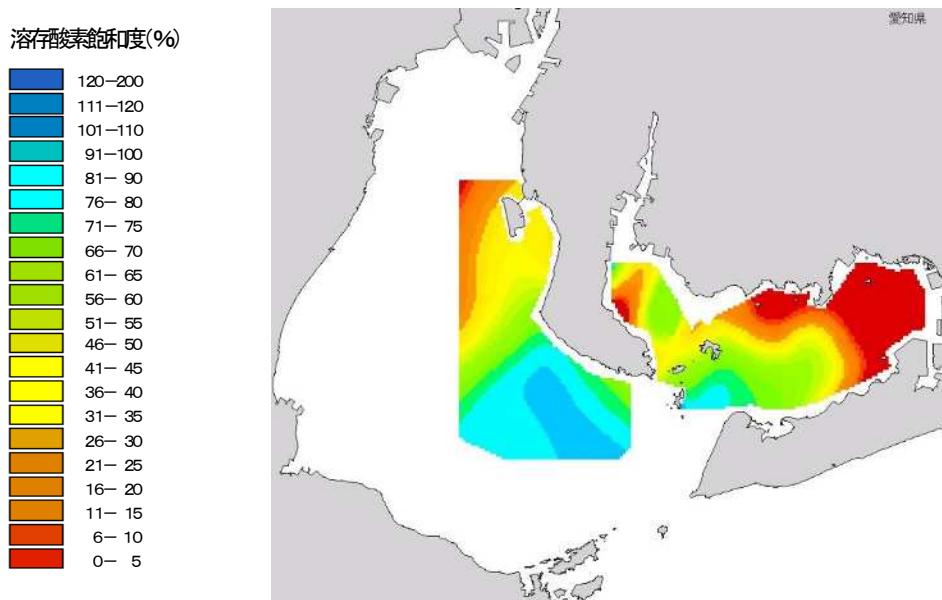


図3 伊勢湾（9月1日）、三河湾（9月2、3日）